

諏訪地方の 経済概況速報

2024年6月末調査／2024年7月25日発行

2024
7月

製造業 Manufacturing Industry

自動車認証不正の影響まちまち

02

観光・サービス業 Tourism and service industry

梅雨入りも入り込み好調

04

雇用 Employment situation

有効求人倍率17ヵ月連続で前年下回る

06

商業 Commerce

消費者の節約意識強まる

03

建設業 Construction industry

前年度、国県工事の応札数諏訪地域が県内最多

05

今月のコラム

「スイス、モンゴルの成長に学ぶ」



▲本誌の電子版はこちらから



諏訪信用金庫

SUWA SHINKIN BANK

ハケ岳エコーライン沿い

諏訪地方の概況

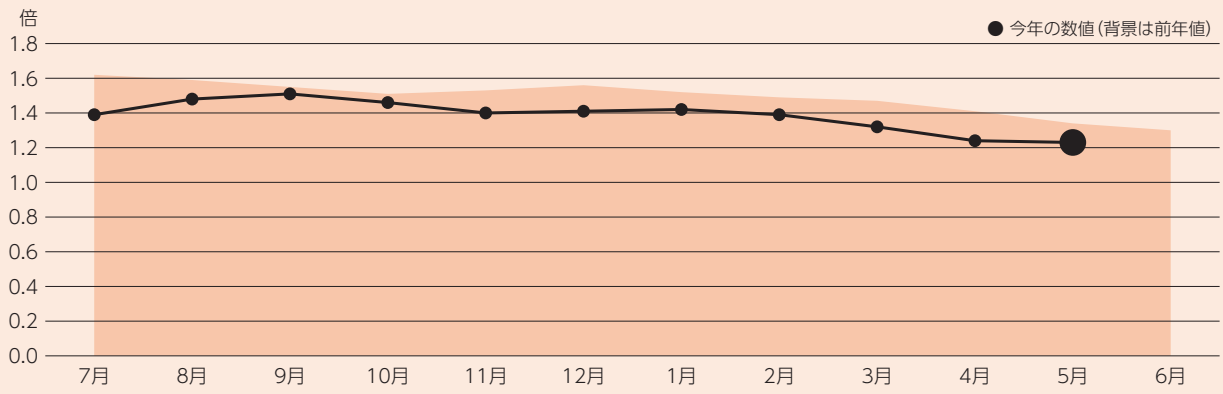
●諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ

日銀発表の6月の全国企業短期経済観測調査(短観)で業況判断指数は、大企業製造業が幅広い業種で価格転嫁が進んだが、急激な円安進行による原材料やエネルギー価格の上昇、自動車の認証不正の発覚などで、前回3月の調査から小幅な改善にとどまった。大企業非製造業は、インバウンド消費が旺盛な一方で、原材料高や人件費の高騰が響き、やや悪化した。諏訪地方でも原材料やエネルギー価格の上昇に苦慮する企業が多い。製造業では、下請け企業から

の価格交渉に大手の柔軟な対応も見られるようになってきたが、交渉後にも価格上昇が続くため、負担増になる傾向がある。ただ、先行きは不透明ながらも底入れ感を持つ企業が増えている。非製造業も物価上昇で仕入れコストが増加しており、収益面で厳しさがある企業が多い。政府が一度終了した電気・ガス代の補助再開には安堵の声がある。

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【5月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.23倍	△0.11ポイント
国県公共工事【6月】 (税抜・地元企業受注分)	件 数	8件	△8件
	金 額	532百万円	△58百万円
6市町村公共工事受注【6月】 (税抜・業務委託除く)	件 数	81件	△10件
	金 額	1,696百万円	229百万円
車庫証明取扱件数【6月】(諏訪地方合計)		863件	△7.3%
新設住宅着工戸数【4～5月】(諏訪管内)		186戸	33.8%

●有効求人倍率の推移



自動車関連は、「型式指定」を巡る不正問題の発覚による生産・出荷停止以降、量産品の受注が低調に推移している企業がある反面、軽微な影響だった企業があり、諏訪地方の企業はそれぞれ状況が異なる。経済産業省発表の鉱工業生産指数は5月は回復したが、6月は新たに発覚した認証不正で再び落ち込む見通しで、自動車生産の混乱は、製造業全体に影響している。EV関連は一時に比べて動きが鈍いが、見積もり依頼はあり量産見込みの企業もある。また、ハイブリット車関連部品の製造も好調を維持している。半導体関連は、製造装置の受注が急増し、3ヵ月後の内示も固い企業がある一方で、依然受注が低調な企業があり、まだら模様となっている。その中で、半導体業界の川上に位置する製造装置に動きがあり、業界全体の活発化の兆しも見られる。

■金属製品

プレス、メッキ、熱処理など

自動車と半導体にいくぶん動き（明るさ）がみえてきたため、盆過ぎ以降に期待しているという企業と、自動車関連及び半導体関連の動きが弱く、低調な受注状況が続いているとする企業があり、企業によって見方が分かれている。自動車の認証不正問題の影響も企業によって度合いが違うが、ハイブリット向け部品は好調を維持している。

■一般機械

工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など

半導体関連は工程などによって状況が異なるが、製造用装置や洗浄用装置の部品の受注が急激に増加し、見積依頼が増え、3ヵ月先の受注も増加の内示が出ている企業がある。工作機械関連でも「底を打った」と見る企業も出てきた。人手不足から自動化、合理化に対応する設備導入についての相談は日々増加している。ただ、円安による仕入れコスト上昇への懸念もある。自動車関連は認証不正発覚以降、量産品の受注が低調になったり、案件が先送りになる影響が見られた。

■電気機械

家電、パソコン、情報機器、電子デバイスなど

中国向け自動機関連の制御装置が急激な受注増と

なり、雇止めをしていた派遣社員の募集や残業、休日出勤で対応している企業がある一方で、回復すると言われ続けている半導体関連にその兆しが見られない企業がある。プリント基板は、前年より受注が増加傾向の企業もあるが、中国のインフラ投資の動向次第で依然先行きは不透明。

■輸送用機械

自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など

大手メーカーの認証不正問題で、地方の下請け企業にも影響がおよび、自動車業界全体に不透明感があり、受注状況はさまざま。その中で、EV車とガソリン車に共通する部品、北米市場を中心としたハイブリット車関連、高級車向けは好調に推移している。ただ、コンテナ不足による輸送費の値上げや賃金ベースの上昇などが収益を圧迫している。建機や農機は依然として低調で小～中ロットの受注が大半となっている。一方、欧州や中国市場で、比較的高価なロードバイクの需要が増えている。

■精密機械

時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など

産業用レンズ関連は、眼科用検査レンズや暗視カメラ用レンズなど難削案件は堅調だが、総体的にやや停滞している。ロボット関連の動きも鈍い。計器関連は、販売先やエンドユーザーに在庫があり、停滞感が強い。受注に波があった通信機器関連は安定してきた。印刷機部品は、量産品に動きが出てきている。ただ、円安の影響で材料費の高騰に価格が追い付かず、再値上げを交渉中の企業もある。

■製造業全般

漬物は、消費者の節約志向で購入点数を減らす対象になることが多い。7～8月は家庭菜園で野菜ができるためスーパー向けの売上は減少するが、単身者の利用が多いコンビニ向けは伸びる見込み。寒天は首都圏の大手スーパーや和菓子店向けは安定した売上となっている。サマーシーズンとなり、さらに増加する見込み。今年の冬に向けたテングサの仕入準備が進められる。みそは夏場は売上減少期だが、円安の影響で輸出品が好調。流通量の増加で、工場の生産が間に合わない企業がある。

長野県内のガソリン価格は、6月24日時点で184円40銭で、16週連続全国最高値となり、前年5～9月に続いた記録と並んだ。物価上昇に賃上げが追いつかず、家計の購買力が上がらないため、消費者の節約意識はさらに強まっている。飲食店では人手不足で予約を断るケースがある一方で、値上げの影響で予算が合わず、顧客側から宴会予約を断る事象も見られ、顧客離れが懸念されている。一方、運送業・物流業界の2024年問題の影響で、製造業では遠方への出張や納品などに社有車を使用する頻度が上昇している。このため、社有車のタイヤの減りが早く、交換のサイクルも早まり、自動車用品販売業の需要が増加している。

■スーパー

物価高騰、景気後退、暑さなどの影響で平日、休日とも客足が減っている。高価格帯の商品の動きは低調だが、低価格のプライベートブランド、まとめ買い割引商品の売れ行きは好調。肉の価格が上がり続けている。

■花店

コロナ後も葬儀を小規模に行う傾向を意識したビジネスモデルが認知され、生花業界としては苦しい立場となっている。

■書店

文芸書（小説）の読み物の売れ行きはまずまずで、子供向けも良かったが、月刊誌は廃刊傾向が続いている。地図や旅行ガイドは、海外向けの動きが鈍かった。

■自動車販売

諏訪地方の6月の車庫証明件数は863件で、前年同月比68件、7.3%減少した。認証不正の該当車種の納入がなく、中小販売店にしわ寄せがきている。

■飲食店

暑さの影響などで来店客数が若干減少傾向だった。コストアップをカバーしきれず、再度値上げを検討する店が多い。

■靴店

CMの影響で着脱しやすい「スケッチャーズ」が人気。40代以上の男女ともにスニーカーの売れ行きが伸びる見込み。梅雨用の靴やサンダルは低調。

■ガソリンスタンド

観光客は増加しているが、日帰り旅行または長野県よりもガソリン価格の安い近県で給油を済ませているケースが多く、利用者および数量増加が見込みにくくなっている。

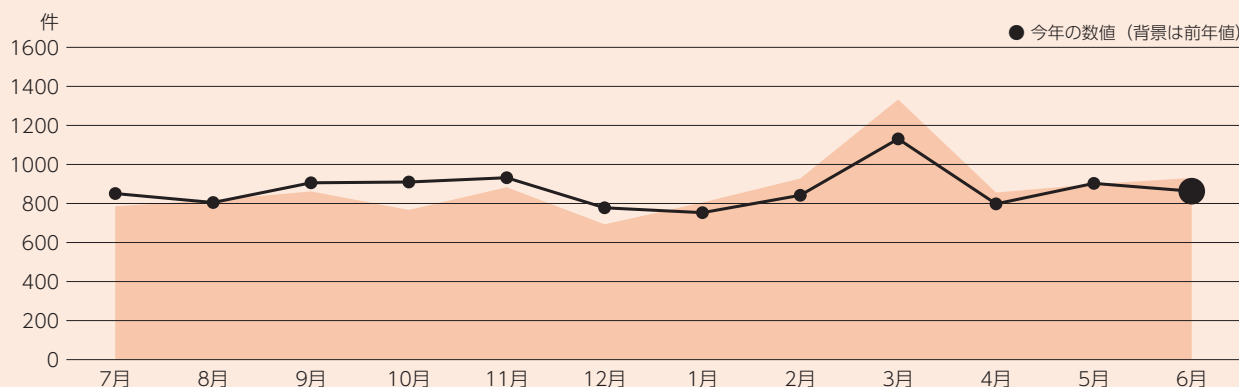
■コンビニ

商品値上げが一巡して客単価は前年並みとなり、廃棄ロスを減らすことに注力。売れ残りを回避するため、在庫を極力抱えない態勢へシフトしている。

■野菜等直売所

天候に恵まれ、気温も高く売上は好調だった。観光地がにぎわう流れで、土日の来店客が好調。人の動きは活発な状況が続いている。今後も宿泊施設の予約状況が好調のため、来店者数の増加が見込まれる。

●車庫証明件数の推移



6月は、高気圧に覆われる日が多く、梅雨前線の北上が遅れ、平年より14日、前年より13日遅い梅雨入りとなった。諏訪地方の観光地は例年、梅雨時期の入り込みはやや少なくなる傾向だが、今年は高原の施設を中心に来訪者が多かった。インバウンドは引き続き好調で、宿泊者数に占める割合も増加してきているが、諏訪地域は県内の他地区に比べるとまだ少ないという認識が多い。物価高騰の影響で宿泊単価が上昇しているが、仕入れコストも上昇し、収益面では厳しい状況が続いている。6月23日に諏訪地方で行われたトライアスロンは、大会前日から当日の大雨の影響で、前回開催時よりも宿泊業を含めた地域内経済への恩恵は限定的となった。

■上諏訪温泉

前年同月比の宿泊人数は、諏訪湖温泉旅館協同組合加盟の14施設中、増加が7施設、減少が7施設で、総体の6月の客室稼働率は67.7%だった。トライア

スロン大会や辰野ほたる祭りがあり、週末はどの施設もほぼ満館となったが、平日は鈍く6月は全体的にやや中休み状態だった。

■下諏訪温泉

トライアスロン関連の宿泊があった。7～8月の学生の合宿需要も回復してきており、予約状況は良好。

■蓼科・白樺湖・車山・富士見等

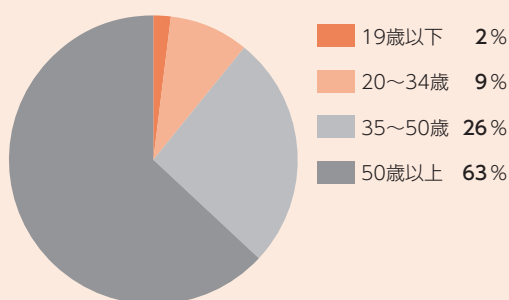
中学校の修学旅行や登山客などがあり、好調を維持して前年同月を上回る売上の宿泊施設や飲食店が多かった。夏のハイシーズンの予約状況も良好な施設が多い。

■諏訪大社

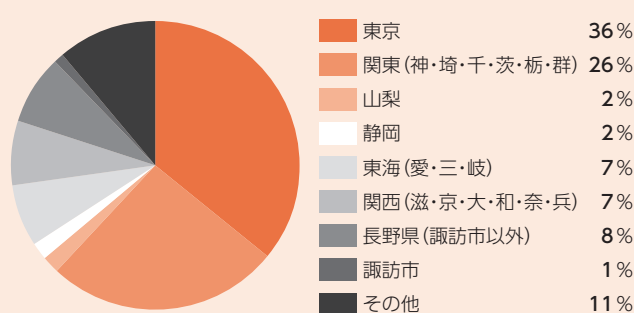
上社・下社合わせた6月の参拝者数は、約72,000人だった。前年同月に比べ約3,600人、5.2%増加した。

●諏訪市観光案内所 6月日本人来訪者（一般社団法人諏訪観光協会提供）

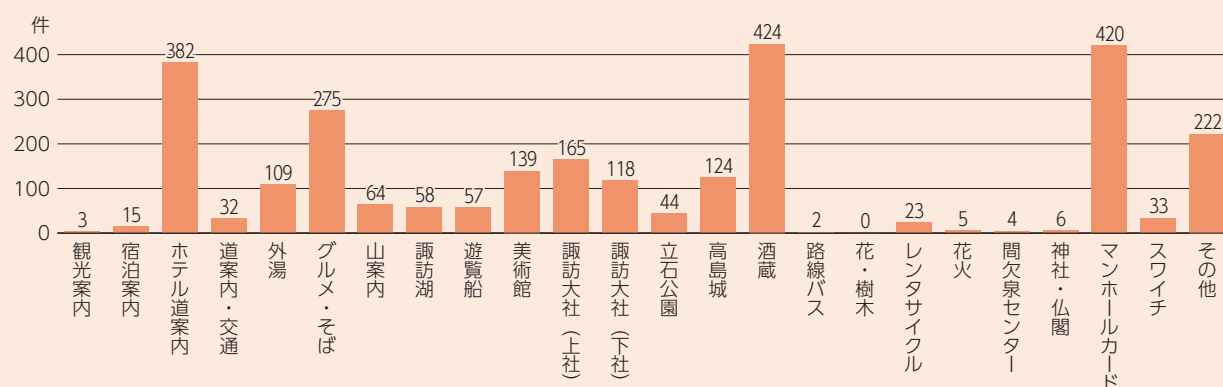
〈年齢別構成比〉



〈居住地域〉



〈案内先〉複数案内(単位:人)



建設業 前年度、国県工事の応札数諏訪地域が県内最多

05

6月の市町村からの受注工事は、合計81件1,696百万円となった。前年同月に比べ、件数は10件減少したが、契約金額は229百万円、15.7%増加した。国、県関係の2024年4月～6月の累計公共工事（地元業者受注分）は、前年同期に比べ件数は減少したが、契約金額は大幅増加している。国県工事は諏訪地域の応札数が多く、2023年度は、県内で最も多かった。一方、民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数が143戸で、前年同月に比べ53戸増加（58.9%）した。

■公共工事

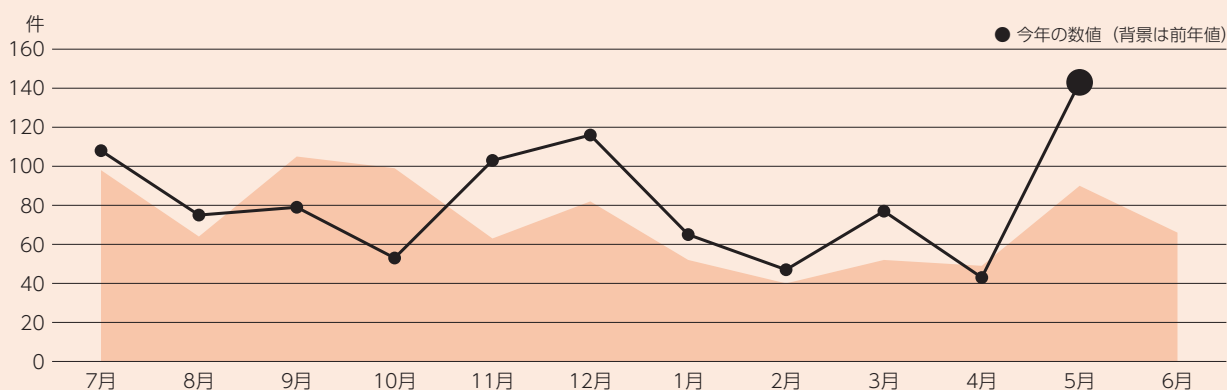
6月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、国関係1件、諏訪建設事務所4件、諏訪地域振興局農地整備課1件、県警察本部1件、その他土木・建築等工事1件の合計8件で、契約金額は532百万円

だった。4～6月の累計は22件2,636百万円で、前年同期比で件数は2件減少したが、契約金額は5月の大規模な河川メンテナンス工事で1,180百万円増加（81.1%）した。市町村からの6月の受注工事は、建築工事がなく、土木工事および下水道工事57件867百万円、その他工事24件829百万円だった。

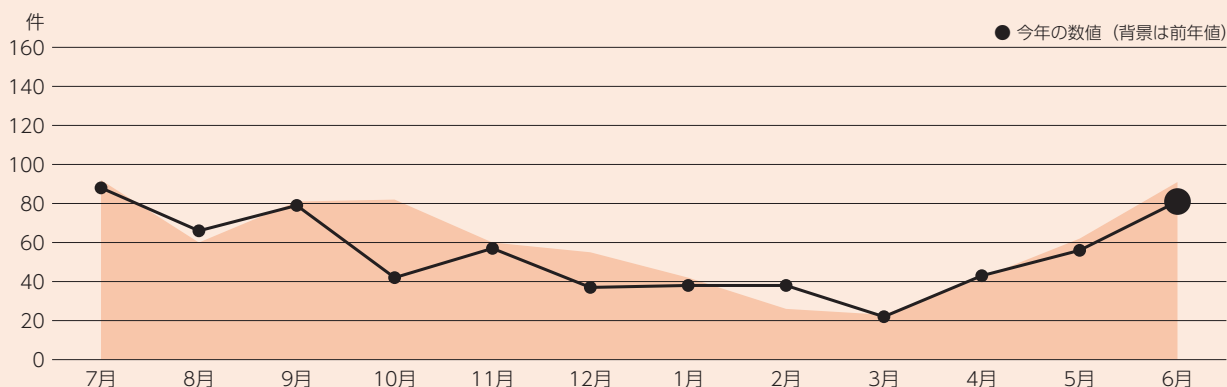
■民間工事

5月の民間工事の利用関係別は前年同月比で、「持家」が3戸増加の60戸、「貸家」は54戸増加の81戸、分譲は4戸減少の2戸だった。4月～5月の新設住宅着工戸数は186戸で、前年同月比33.8%増加した。長野県内の5月の新設住宅着工戸数は891戸で、前年同月比8.4%減少した。利用関係別の対前年伸び率は、持家が529戸で5.7%減少、貸家が231戸で11.5%減少、分譲が130戸で12.2%の減少となった。

●新設住宅着工件数の推移（諏訪地方合計）



●公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



雇用 有効求人倍率17ヵ月連続で前年下回る

06

諏訪地方の5月の有効求人倍率は、前年同月比0.11ポイント低下し、前月から0.01ポイント低下の1.23倍となった。17ヵ月連続で前年同月を下回った。長野県平均の有効求人倍率は、前月から0.01ポイント低下の1.35倍だった。新規求人数は15ヵ月連続で減少した。全国平均は前月比0.02ポイント低下の1.24倍だった。全国の完全失業率は、前月横ばいの2.6%だった。諏訪地方の新規求人数は1,356人で、前年同月比

221人減少（△14.0%）した。14ヵ月連続で前年同月を下回っている。業種別前年同月比の新規求人数は、運輸業・郵便業が38.7%と増加し、製造業△14.0%、卸売業・小売業△33.9%、飲食店・宿泊業が△24.1%、その他のサービス業△16.3%と減少した。人手不足で人材が必要となる一方で、原材料費や人件費の高騰が経営の重荷となり、求人を控える構図が続いている。

Voices

企業のひとこと

●金属製品製造業

・単価の引上げは交渉相手が同じでも、製品の精度や不良率などによって、引上げ要請に応じてもらえる会社と、そうでない会社がある。
・トヨタなどの大企業が「金型の保管料を払っていなかった」など信じられない。これまで隠されてきたことが表面化する時代になってきており、自社でも取引先や従業員に対し、誠実にやらなければいけないと改めて感じる。

●一般機械製造業

・若い人はいいなー。初任給は高いし、残業代もきちんと付く。だけど、本当の苦勞を知らないとあとで大変だと思う。
・中途採用はこれまで「転職歴は2回まで。3回ある人は採用しない。」としていたが、この方針を続けられるか不安ではある。しかし、3回以上の転職歴がある人は「何か問題がある」という経験則があり悩ましい。

●電気機械製造業

・電子部品の需要はだれが見ても増加するはずなのに、実際の生産は足踏み状態。今後一気に受注が増えることになると、また材料不足やサプライチェーンの混乱などを招くことになる。
・賃上げしている中での賞与支給は楽ではない。人件費の負担増の影響が顕著である。

●輸送用機械製造業

・賃金ベースは上がっており、収益は減少傾向にある。賃上げの動きがある中で社員の流出、他社への転職の動き（高賃金の企業に流れる）が激しくならないか懸念している。
・トランプ氏が再選した際のアメリカ第一主義による日本のさらなる景気後退が心配。

●精密機械製造業

・長期的に受注が回復してくるか不透明だが、底は脱した感がある。金利上昇局面にあり、金利負担の増加は非常に心配。

●自動車販売

・今のところレクサスをはじめ、高級車は「おじさん需要」に支えられているが、あと20年もするとその市場はどうなっているのかわからないほど、若者は車に興味がない。

●土産品販売業

・「夏休みの家族旅行は国内」の特集記事をよく目にするが、高付加価値で客を呼びたい施設は様に客単価が上がっているの、あまり差はないのでは。

●靴販売店

・人気の「スケッチャーズ」は、正規品の価格が高いため、類似品の安いスニーカーが売れている。各メーカーやブランドからも同じ仕組みのスニーカーが出始めている。

●観光業

・円安による訪日外国人数の増加が連日報道されるが、観光目当てというより日本国内でのビジネスチャンス獲得を狙っての訪日ではないか。日本の固有産業や資材などを、自国の事業へ取り入れるチャンスと見ている外国人経営者が多数来ている。
・東京都知事選の際、石丸伸二氏が駆使したSNS戦略を見習いたい。

●建設業

・人手不足、資材高騰、競争激化など嫌なキーワードばかりで頭が痛い。儲かる時代はもう来ない。数年前まで全く考えていなかったが、建設業でも「人手不足倒産」ということが現実味を帯びてきている。

スイス、モンゴルの成長に学ぶ

株式会社小宮コンサルティング CEO
小宮 一慶氏



先日、スイスを1週間、翌週は水曜日から土曜日までモンゴルに出張してきました。企業訪問や講演が主でしたが、観光もしました。

今回は両国のお話を通じて日本のことを考えます。

まずスイスからです。

スイスは、面積は約4万km²で日本の九州ほど、人口は900万人弱です。そのわりに国際的なプレゼンスが大きいのは、ジュネーブにWHOなどの国連機関が多数存在し、欧州外交の中心地のひとつとなっていることがあります。永世中立国の立場を利用して、自国の立ち位置を有利にするとともに、そういった国際機関での雇用を生んでいるのです。

一人当たりのGDPは約10万ドルで、日本(3.3万ドル)の3倍程度です。物価が高いのもうなずけます。

スイスでは、ユングフラウまで足を延ばしましたが、標高3400メートルまで鉄道で移動でき、また、多くの山を鉄道やロープウェイで登り降りができ、やはりインフラを充実させることで、観光産業を大きな収入源にしているのが分かります。

アイガーが近くに臨める2000メートル級の山の頂上にレストランがあり、そこにロープウェイで登った時には、ドイツ語、フランス語や英語でのアナウンスの後に、中国語、韓国語のアナウンスがありましたが、日本語がないのをとても寂しく思いました。やはり中国人、韓国人が目立ったことは事実です。

また、円が安いと、身に染みて物価が高いのを感じました。お店にもよりますが、コカ・コーラの500ミリリットル1本が800円程度する店もありました。飲食店ではなく、小売店の店頭での販売価格です。昨年、やはり当社のツアーで西オーストラリアを訪問した際、大学構内の飲み物の自販機で小さなペットボトルの飲み物が500円程度したのに驚きましたが、やはり今の円レートは異常に安いと言って間違いないでしょう。

観光と並んで時計などの精密機械や工作機械、また武器製造などでも有名で、ネスレの本社もあります。直接民主制で、10%以上の国民の発議で国民投票が実施されます。永世中立を守る点でも徴兵制が敷かれており、またEUにも加盟していません。通貨はスイスフランが使われていますが、フランスやイタリアなどの周辺国との国境はフリーパス状態で、もちろんパスポートチェックありません。通貨は違うものの、経済的に

は物流や雇用などはEUに加盟している周辺諸国と一体化している印象です。経済では周辺国と一体化しながらも、政治的には独自色を出しています。

	面積 (万km ²)	人口 (万人)	名目GDP (億ドル)	一人あたり GDP(ドル)
スイス	4.1	877	8851.4	100928
モンゴル	156.4	340	198.6	5841
日本	37.8	12495	42129.4	33717
		2022年	2023年IMF	推計値

スイスを訪れた翌週に、モンゴルのウランバートルを訪問しました。

モンゴルの面積は156万km²でとても大きな国ですが、人口は約340万人です。一人当たりのGDPは6千ドル弱で、モータリゼーションが一気に普及すると言われる7千ドルまであと一息です。

私は1990年代半ばにも国連の仕事でウランバートルを訪れたことがありましたが、その頃はまともなホテルもありませんでした。資本主義に移行したばかりのモンゴルの企業家たちに経営の基本を1週間ほど教えたのですが、会場となったモンゴル通産省の会議室が何度も停電で授業が中断されたのは懐かしい思い出です。

それが、最近では高層ビルが多く建ち、タワーマンションも建ち始めています。相変わらずトヨタのプリウスの中古車が多く走っていますが、5年ぶりに訪れたウランバートル市内では、レクサスの最上級のRVやベンツなどの高級車も見かけるようになり、経済発展を肌で感じます。ただ、発展する途上国によくみられる交通渋滞は、さらにひどくなっていました。

日本にも観光資源だけでなく、優秀な工業製品や丁寧なサービス、清潔な都市や交通機関など世界に誇る多くのものがありますが、日本の経済は世界各国の発展からここ30年ほど取り残されています。

海外の経済や企業の発展を見るにつけ、これだけ優れた資源、特に人的資源を持つ日本もまだまだチャンスがあるのではないかと考えさせられます。スイスのような先進国もモンゴルのような途上国も、ある意味必死で自国の産業や経済を守っていますし、企業家たちもどん欲に、また必死で自社の経営を行っています。その必死さやどん欲さが必要だと感じます。

諏訪信用金庫アプリ

ダウンロードはこちら→

スマートフォンから簡単に新規口座開設や残高照会、入出金明細の確認などができます。登録は無料です。



Download on the App Store



GET IT ON Google Play



諏訪信用金庫

SUWA SHINKIN BANK

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-24-4055



ホームページ



Instagram